

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 27 年 3 月 26 日 (2015.3.26)

【公表番号】特表 2014-517595 (P2014-517595A)

【公表日】平成 26 年 7 月 17 日 (2014.7.17)

【年通号数】公開・登録公報 2014-038

【出願番号】特願 2014-510380 (P2014-510380)

【国際特許分類】

H 0 4 W 52/34 (2009.01)

【 F I 】

H 0 4 W 52/34

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 27 年 2 月 4 日 (2015.2.4)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

無線通信の方法であって、

前の電力管理最大電力低減 (P - M P R) と現在の P - M P R との差分を判定することと、ここで、前記前の P - M P R は、前記前の P - M P R による電力バックオフが適用されていることを示すインジケーションが通信された場合の P - M P R である、

前記差分がしきい値よりも大きく、前記現在の P - M P R が最大電力低減 (M P R) と追加の M P R (A - M P R) との総和よりも大きい場合、電力ヘッドルーム・レポート (P H R) をトリガすることと、を備える方法。

【請求項 2】

前記トリガすることは、前記現在の P - M P R と前記前の P - M P R との変化がしきい値を超えており、前記前の P - M P R が最後の P H R が送信された場合の P - M P R であることに基づいて前記 P H R のトリガをリプレースする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記現在の P - M P R が、前記 P H R において変化したか否かと、前記変化が示された場合、前記現在の P - M P R が、前記 P H R においてどのように変化したのかを示すことと、をさらに備える請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

レポートされた現在の最大出力電力 $P_{C M A X, c}$ が、前記 P H R における現在の P - M P R によって影響されるか否かを示すことと、をさらに備える請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記レポートされた $P_{C M A X, c}$ が、前記現在の P - M P R によって影響されるか否かを示すことは、

前記レポートされた $P_{C M A X, c}$ が前記現在の P - M P R によって影響されず、前記レポートされた $P_{C M A X, c}$ が、前記現在の P - M P R によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記現在の P - M P R が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加も減少もしていない場合に、インジケーションを提供することを備える、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記レポートされた $P_{C M A X, c}$ が前記現在の P - M P R によって影響されるか否か

を示すことは、

前記レポートされた $P_{CMA X, c}$ が前記現在の $P - MPR$ によって影響されず、前記レポートされた $P_{CMA X, c}$ が、前記現在の $P - MPR$ によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記現在の $P - MPR$ が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加した場合に、インジケーションを提供することを備える、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 7】

前記レポートされた $P_{CMA X, c}$ が前記現在の $P - MPR$ によって影響されるか否かを示すことは、

前記レポートされた $P_{CMA X, c}$ が前記現在の $P - MPR$ によって影響されず、前記レポートされた $P_{CMA X, c}$ が、前記現在の $P - MPR$ によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記現在の $P - MPR$ が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで減少した場合に、インジケーションを提供することを備える、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 8】

前記レポートされた $P_{CMA X, c}$ が前記現在の $P - MPR$ によって影響されるか否かを示すことは、

前記レポートされた $P_{CMA X, c}$ が前記現在の $P - MPR$ によって影響された場合にインジケーションを提供することを備える、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 9】

前記 PHR は、拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御 (MAC) 制御要素を備え、前記インジケーションは、前記拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御 (MAC) 制御要素に含まれる、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 10】

無線通信の方法であって、

イボルブド・ノード B ($eNodeB$) に、電力管理最大電力低減 ($P - MPR$) が電力ヘッドルーム・レポート (PHR) において変化したか否かを示すことと、

前記変化が示された場合、前記 $eNodeB$ に、前記 $P - MPR$ が前記 PHR においてどのように変化したのかを示すことと、

レポートされた現在の最大出力電力 $P_{CMA X, c}$ が前記 $P - MPR$ によって影響されず、前記レポートされた $P_{CMA X, c}$ が、前記 $P - MPR$ によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 $P - MPR$ が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加も減少もしていない場合に、前記レポートされた $P_{CMA X, c}$ は、前記 PHR におけるインジケーションを設定することにより、前記 PHR における前記 $P - MPR$ によって影響されるか否かを示すことと、

前記 $eNodeB$ に、前記 PHR を送信することと、を備える方法。

【請求項 11】

前記インジケーションは、00 の値に設定されるフィールドである、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

前記レポートされた $P_{CMA X, c}$ が、前記 $P - MPR$ によって影響されるか否かは、前記レポートされた $P_{CMA X, c}$ が前記 $P - MPR$ によって影響されず、前記レポートされた $P_{CMA X, c}$ が、前記 $P - MPR$ によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 $P - MPR$ が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加した場合に、前記 PHR におけるインジケーションフィールドを 01 の値に設定することによって示される、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 13】

前記レポートされた $P_{CMA X, c}$ が、前記 $P - MPR$ によって影響されるか否かは、前記レポートされた $P_{CMA X, c}$ が前記 $P - MPR$ によって影響されず、前記レポートされた $P_{CMA X, c}$ が、前記 $P - MPR$ によって影響を受けることを示す最後のレポ

ートから、前記 P - M P R が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで減少した場合に、前記 P H R におけるインジケーションフィールドを 1 0 の値に設定することによって示される、請求項 1 0 に記載の方法。

【請求項 1 4】

前記レポートされた $P_{C M A X, c}$ が、前記 P - M P R によって影響されるか否かは、
前記レポートされた $P_{C M A X, c}$ が前記 P - M P R によって影響された場合に、前記 P H R におけるインジケーションフィールドを 1 1 の値に設定することによって示される、請求項 1 0 に記載の方法。

【請求項 1 5】

前記 P H R は、拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御 (M A C) 制御要素を備え、前記インジケーションは、前記拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御 (M A C) 制御要素に含まれる、請求項 1 0 に記載の方法。

【請求項 1 6】

無線通信の方法であって、
電力管理最大電力低減 (P - M P R) 値をレポートせよとの要求をイボルブド・ノード B から受信することと、
前記 P - M P R 値に関連する情報を含む電力ヘッドルーム・レポート (P H R) を送信することと、

ここで、前記 P H R は、インジケーションフィールドを含む、
ここで、前記インジケーションフィールドは、レポートされた現在の最大出力電力 $P_{C M A X, c}$ が前記 P - M P R 値によって影響されず、前記レポートされた $P_{C M A X, c}$ が、前記 P - M P R 値によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 P - M P R 値が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加も減少もしていない場合に、前記インジケーションフィールドは、0 0 の値に設定される、

ここで、前記レポートされた $P_{C M A X, c}$ が前記 P - M P R 値によって影響されず、前記レポートされた $P_{C M A X, c}$ が、前記 P - M P R 値によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 P - M P R 値が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加した場合に、前記インジケーションフィールドは、0 1 の値に設定される、

ここで、前記レポートされた $P_{C M A X, c}$ が前記 P - M P R 値によって影響されず、前記レポートされた $P_{C M A X, c}$ が、前記 P - M P R 値によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 P - M P R 値が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで減少した場合に、前記インジケーションフィールドは、1 0 の値に設定される、

ここで、前記レポートされた $P_{C M A X, c}$ が前記 P - M P R 値によって影響を受ける場合に、前記インジケーションフィールドは、1 1 の値に設定される、
を備える方法。

【請求項 1 7】

無線通信のための装置であって、
前の電力管理最大電力低減 (P - M P R) と現在の P - M P R との差分を判定する手段と、ここで、前記前の P - M P R は、前記前の P - M P R による電力バックオフが適用されていることを示すインジケーションが通信された場合の P - M P R である、

前記差分がしきい値よりも大きく、前記現在の P - M P R が最大電力低減 (M P R) と追加の M P R (A - M P R) との総和よりも大きい場合、電力ヘッドルーム・レポート (P H R) をトリガする手段と、を備える装置。

【請求項 1 8】

前記トリガする手段は、前記現在の P - M P R と前記前の P - M P R との変化がしきい値を超えており、前記前の P - M P R が最後の P H R が送信された場合の P - M P R であることに基づいて前記 P H R のトリガをリプレースする、請求項 1 7 に記載の装置。

【請求項 1 9】

前記現在の P - M P R が、前記 P H R において変化したか否かを示す手段と、
前記変化が示された場合、前記現在の P - M P R が、前記 P H R においてどのように変

化したのかとを示す手段と、をさらに備える請求項 17 に記載の装置。

【請求項 20】

レポートされた現在の最大出力電力 $P_{CMAX, c}$ が、前記 P H R における現在の P - M P R によって影響されるか否かを示す手段、をさらに備える請求項 19 に記載の装置。

【請求項 21】

前記レポートされた $P_{CMAX, c}$ が、前記現在の P - M P R によって影響されるか否かを示す手段は、前記レポートされた $P_{CMAX, c}$ が前記現在の P - M P R によって影響されず、前記レポートされた $P_{CMAX, c}$ が、前記現在の P - M P R によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記現在の P - M P R が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加も減少もしていない場合に、インジケーションを提供する、請求項 20 に記載の装置。

【請求項 22】

前記レポートされた $P_{CMAX, c}$ が、前記現在の P - M P R によって影響されるか否かを示す手段は、前記レポートされた $P_{CMAX, c}$ が前記現在の P - M P R によって影響されず、前記レポートされた $P_{CMAX, c}$ が、前記現在の P - M P R によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記現在の P - M P R が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加している場合に、インジケーションを提供する、請求項 20 に記載の装置。

【請求項 23】

前記レポートされた $P_{CMAX, c}$ が、前記現在の P - M P R によって影響されるか否かを示す手段は、前記レポートされた $P_{CMAX, c}$ が前記現在の P - M P R によって影響されず、前記レポートされた $P_{CMAX, c}$ が、前記現在の P - M P R によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記現在の P - M P R が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで減少している場合に、インジケーションを提供する、請求項 20 に記載の装置。

【請求項 24】

前記レポートされた $P_{CMAX, c}$ が、前記現在の P - M P R によって影響されるか否かを示す手段は、前記レポートされた $P_{CMAX, c}$ が前記現在の P - M P R によって影響された場合にインジケーションを提供する、請求項 20 に記載の装置。

【請求項 25】

前記 P H R は、拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御 (M A C) 制御要素を備え、前記インジケーションは、前記拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御 (M A C) 制御要素に含まれる、請求項 19 に記載の装置。

【請求項 26】

無線通信のための装置であって、

イボルブド・ノード B (e N o d e B) に、電力管理最大電力低減 (P - M P R) が電力ヘッドルーム・レポート (P H R) において変化したか否かを示す手段と、

前記変化が示された場合、前記 e N o d e B に、前記 P - M P R が前記 P H R においてどのように変化したのかを示す手段と、

レポートされた現在の最大出力電力 $P_{CMAX, c}$ が前記 P - M P R によって影響されず、前記レポートされた $P_{CMAX, c}$ が、前記 P - M P R によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 P - M P R が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加も減少もしていない場合に、前記レポートされた $P_{CMAX, c}$ は、前記 P H R におけるインジケーションを設定することにより、前記 P H R における前記 P - M P R によって影響されるか否かを示す手段と、

前記 e N o d e B に、前記 P H R を送信する手段と、を備える装置。

【請求項 27】

前記インジケーションは、00の値に設定されるフィールドである、請求項 26 に記載の装置。

【請求項 28】

前記レポートされた $P_{CMAX, c}$ が、前記 $P - MPR$ によって影響されるか否かを示す手段は、前記レポートされた $P_{CMAX, c}$ が前記 $P - MPR$ によって影響されず、前記レポートされた $P_{CMAX, c}$ が、前記 $P - MPR$ によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 $P - MPR$ が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加した場合に、前記 PHR におけるインジケーションフィールドを 01 の値に設定する、請求項 26 に記載の装置。

【請求項 29】

前記レポートされた $P_{CMAX, c}$ が、前記 $P - MPR$ によって影響されるか否かを示す手段は、前記レポートされた $P_{CMAX, c}$ が前記 $P - MPR$ によって影響されず、前記レポートされた $P_{CMAX, c}$ が、前記 $P - MPR$ によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 $P - MPR$ が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで減少した場合に、前記 PHR におけるインジケーションフィールドを 10 の値に設定する、請求項 26 に記載の装置。

【請求項 30】

前記レポートされた $P_{CMAX, c}$ が、前記 $P - MPR$ によって影響されるか否かを示す手段は、前記レポートされた $P_{CMAX, c}$ が前記 $P - MPR$ によって影響された場合に前記 PHR におけるインジケーションフィールドを 11 の値に設定する、請求項 26 に記載の装置。

【請求項 31】

前記 PHR は、拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御 (MAC) 制御要素を備え、前記インジケーションは、前記拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御 (MAC) 制御要素に含まれる、請求項 26 に記載の装置。

【請求項 32】

無線通信のための装置であって、

電力管理最大電力低減 ($P - MPR$) 値をレポートせよとの要求をイボルブド・ノード B から受信する手段と、

前記 $P - MPR$ 値に関連する情報を含む電力ヘッドルーム・レポート (PHR) を送信する手段と、

ここで、前記 PHR は、インジケーションフィールドを含む、

ここで、前記インジケーションフィールドは、レポートされた現在の最大出力電力 $P_{CMAX, c}$ が前記 $P - MPR$ 値によって影響されず、前記レポートされた $P_{CMAX, c}$ が、前記 $P - MPR$ 値によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 $P - MPR$ 値が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加も減少もしていない場合に、前記インジケーションフィールドは、00 の値に設定される、

ここで、前記レポートされた $P_{CMAX, c}$ が前記 $P - MPR$ 値によって影響されず、前記レポートされた $P_{CMAX, c}$ が、前記 $P - MPR$ 値によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 $P - MPR$ 値が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加した場合に、前記インジケーションフィールドは、01 の値に設定される、

ここで、前記レポートされた $P_{CMAX, c}$ が前記 $P - MPR$ 値によって影響されず、前記レポートされた $P_{CMAX, c}$ が、前記 $P - MPR$ 値によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 $P - MPR$ 値が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで減少した場合に、前記インジケーションフィールドは、10 の値に設定される、

ここで、前記レポートされた $P_{CMAX, c}$ が前記 $P - MPR$ 値によって影響を受ける場合に、前記インジケーションフィールドは、11 の値に設定される、を備える装置。

【請求項 33】

無線通信のための装置であって、

少なくとも 1 つのプロセッサと、

前記少なくとも 1 つのプロセッサに接続されたメモリとを備え、

前記少なくとも 1 つのプロセッサは、

前の電力管理最大電力低減 ($P - MPR$) と現在の $P - MPR$ との差分を判定すること

と、ここで、前記前の $P - MPR$ は、前記前の $P - MPR$ による電力バックオフが適用されていることを示すインジケーションが通信された場合の $P - MPR$ である、

前記差分がしきい値よりも大きく、前記現在の $P - MPR$ が最大電力低減 (MPR) と追加の MPR ($A - MPR$) との総和よりも大きい場合、電力ヘッドルーム・レポート (PHR) をトリガすることと、を実行するように構成された、装置。

【請求項 3 4】

前記トリガすることは、前記現在の $P - MPR$ と前記前の $P - MPR$ との変化がしきい値を超えており、前記前の $P - MPR$ が最後の PHR が送信された場合の $P - MPR$ であることに基づいて前記 PHR のトリガをリプレースする、請求項 3 3 に記載の装置。

【請求項 3 5】

前記少なくとも 1 つのプロセッサはさらに、

前記現在の $P - MPR$ が、前記 PHR において変化したか否かを示すことと、

前記変化が示された場合、前記現在の $P - MPR$ が、前記 PHR においてどのように変化したのかを示すことと、を実行するように構成された、請求項 3 3 に記載の装置。

【請求項 3 6】

前記少なくとも 1 つのプロセッサはさらに、レポートされた現在の最大出力電力 $P_{CMAX, c}$ が、前記 PHR における現在の $P - MPR$ によって影響されるか否かを示すことと、をさらに実行するように構成された、請求項 3 5 に記載の装置。

【請求項 3 7】

前記レポートされた $P_{CMAX, c}$ が、前記現在の $P - MPR$ によって影響されるか否かを示すために、前記少なくとも 1 つのプロセッサは、

前記レポートされた $P_{CMAX, c}$ が前記現在の $P - MPR$ によって影響されず、前記レポートされた $P_{CMAX, c}$ が、前記現在の $P - MPR$ によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記現在の $P - MPR$ が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加も減少もしていない場合に、インジケーションを提供するように構成された、請求項 3 6 に記載の装置。

【請求項 3 8】

前記レポートされた $P_{CMAX, c}$ が、前記現在の $P - MPR$ によって影響されるか否かを示すために、前記少なくとも 1 つのプロセッサは、

前記レポートされた $P_{CMAX, c}$ が前記現在の $P - MPR$ によって影響されず、前記レポートされた $P_{CMAX, c}$ が、前記現在の $P - MPR$ によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記現在の $P - MPR$ が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加した場合に、インジケーションを提供するように構成された、請求項 3 6 に記載の装置。

【請求項 3 9】

前記レポートされた $P_{CMAX, c}$ が、前記現在の $P - MPR$ によって影響されるか否かを示すために、前記少なくとも 1 つのプロセッサは、

前記レポートされた $P_{CMAX, c}$ が前記現在の $P - MPR$ によって影響されず、前記レポートされた $P_{CMAX, c}$ が、前記現在の $P - MPR$ によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記現在の $P - MPR$ が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで減少した場合に、インジケーションを提供するように構成された、請求項 3 6 に記載の装置。

【請求項 4 0】

前記レポートされた $P_{CMAX, c}$ が、前記現在の $P - MPR$ によって影響されるか否かを示すために、前記少なくとも 1 つのプロセッサは、

前記レポートされた $P_{CMAX, c}$ が前記現在の $P - MPR$ によって影響された場合にインジケーションを提供するように構成された、請求項 3 6 に記載の装置。

【請求項 4 1】

前記 PHR は、拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御 (MAC) 制御要素を備え、前記インジケーションは、前記拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御 (MAC) 制御要素

に含まれる、請求項 3 5 に記載の装置。

【請求項 4 2】

無線通信のための装置であって、
少なくとも 1 つのプロセッサと、
前記少なくとも 1 つのプロセッサに接続されたメモリとを備え、
前記少なくとも 1 つのプロセッサは、

イボルブド・ノード B (e N o d e B) に、電力管理最大電力低減 (P - M P R) が電力ヘッドルーム・レポート (P H R) において変化したか否かを示すことと、
前記変化が示された場合、前記 e N o d e B に、前記 P - M P R が前記 P H R においてどのように変化したのかを示すことと、

レポートされた現在の最大出力電力 $P_{C M A X, c}$ が前記 P - M P R によって影響されず、前記レポートされた $P_{C M A X, c}$ が、前記 P - M P R によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 P - M P R が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加も減少もしていない場合に、前記レポートされた $P_{C M A X, c}$ は、前記 P H R におけるインジケーションを設定することにより、前記 P H R における前記 P - M P R によって影響されるか否かを示すことと、

前記 e N o d e B に、前記 P H R を送信することと、 を実行するように構成された、装置。

【請求項 4 3】

前記インジケーションは、0 0 の値に設定されるフィールドである、、請求項 4 2 に記載の装置。

【請求項 4 4】

前記レポートされた $P_{C M A X, c}$ が、前記 P - M P R によって影響されるか否かを示すために、前記少なくとも 1 つのプロセッサは、

前記レポートされた $P_{C M A X, c}$ が前記 P - M P R によって影響されず、前記レポートされた $P_{C M A X, c}$ が、前記 P - M P R によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 P - M P R が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加した場合に、前記 P H R におけるインジケーションフィールドを 0 1 の値に設定するように構成された、請求項 4 2 に記載の装置。

【請求項 4 5】

前記レポートされた $P_{C M A X, c}$ が、前記 P - M P R によって影響されるか否かを示すために、前記少なくとも 1 つのプロセッサは、

前記レポートされた $P_{C M A X, c}$ が前記 P - M P R によって影響されず、前記レポートされた $P_{C M A X, c}$ が、前記 P - M P R によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 P - M P R が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで減少した場合に、前記 P H R におけるインジケーションフィールドを 1 0 の値に設定するように構成された、請求項 4 2 に記載の装置。

【請求項 4 6】

前記レポートされた $P_{C M A X, c}$ が、前記 P - M P R によって影響されるか否かを示すために、前記少なくとも 1 つのプロセッサは、前記レポートされた $P_{C M A X, c}$ が前記現在の P - M P R によって影響された場合に、前記 P H R におけるインジケーションフィールドを 1 1 の値に設定するように構成された、請求項 4 2 に記載の装置。

【請求項 4 7】

前記 P H R は、拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御 (M A C) 制御要素を備え、前記インジケーションは、前記拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御 (M A C) 制御要素に含まれる、請求項 4 2 に記載の装置。

【請求項 4 8】

無線通信のための装置であって、
少なくとも 1 つのプロセッサと、
前記少なくとも 1 つのプロセッサに接続されたメモリとを備え、

前記少なくとも1つのプロセッサは、

電力管理最大電力低減（ $P - MPR$ ）値をレポートせよとの要求をイボルブド・ノード B から受信することと、

前記 $P - MPR$ 値に関連する情報を含む電力ヘッドルーム・レポート（ PHR ）を送信することと、

ここで、前記 PHR は、インジケーションフィールドを含む、

ここで、前記インジケーションフィールドは、レポートされた現在の最大出力電力 $P_{C_MAX_C}$ が前記 $P - MPR$ 値によって影響されず、前記レポートされた $P_{C_MAX_C}$ が、前記 $P - MPR$ 値によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 $P - MPR$ 値が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加も減少もしていない場合に、前記インジケーションフィールドは、00の値に設定される、

ここで、前記レポートされた $P_{C_MAX_C}$ が前記 $P - MPR$ 値によって影響されず、前記レポートされた $P_{C_MAX_C}$ が、前記 $P - MPR$ 値によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 $P - MPR$ 値が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加した場合に、前記インジケーションフィールドは、01の値に設定される、

ここで、前記レポートされた $P_{C_MAX_C}$ が前記 $P - MPR$ 値によって影響されず、前記レポートされた $P_{C_MAX_C}$ が、前記 $P - MPR$ 値によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 $P - MPR$ 値が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで減少した場合に、前記インジケーションフィールドは、10の値に設定される、

ここで、前記レポートされた $P_{C_MAX_C}$ が前記 $P - MPR$ 値によって影響を受ける場合に、前記インジケーションフィールドは、11の値に設定される、
を実行するように構成された、装置。

【請求項49】

前の電力管理最大電力低減（ $P - MPR$ ）と現在の $P - MPR$ との差分を判定することと、ここで、前記前の $P - MPR$ は、前記前の $P - MPR$ による電力バックオフが適用されていることを示すインジケーションが通信された場合の $P - MPR$ である、

前記差分がしきい値よりも大きく、前記現在の $P - MPR$ が最大電力低減（ MPR ）と追加の MPR （ $A - MPR$ ）との総和よりも大きい場合、電力ヘッドルーム・レポート（ PHR ）をトリガすることと、をコンピュータに実行させるためのコードを記憶したコンピュータ読取可能な記憶媒体。

【請求項50】

イボルブド・ノード B（ $eNodeB$ ）に、電力管理最大電力低減（ $P - MPR$ ）が電力ヘッドルーム・レポート（ PHR ）において変化したか否かを示すことと、

前記変化が示された場合、前記 $eNodeB$ に、前記 $P - MPR$ が前記 PHR においてどのように変化したのかを示すことと、

レポートされた現在の最大出力電力 $P_{C_MAX_C}$ が前記 $P - MPR$ によって影響されず、前記レポートされた $P_{C_MAX_C}$ が、前記 $P - MPR$ によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 $P - MPR$ が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加も減少もしていない場合に、前記レポートされた $P_{C_MAX_C}$ は、前記 PHR におけるインジケーションを設定することにより、前記 PHR における前記 $P - MPR$ によって影響されるか否かを示すことと、

前記 $eNodeB$ に、前記 PHR を送信することと、をコンピュータに実行させるためのコードを記憶したコンピュータ読取可能な記憶媒体。

【請求項51】

前記インジケーションは、00の値に設定されるフィールドである、請求項50に記載のコンピュータ読取可能な記憶媒体。

【請求項52】

電力管理最大電力低減（ $P - MPR$ ）値をレポートせよとの要求をイボルブド・ノード B から受信することと、

前記 $P - MPR$ 値に関連する情報を含む電力ヘッドルーム・レポート（ PHR ）を送信

することと、

ここで、前記 P H R は、インジケーションフィールドを含む、

ここで、前記インジケーションフィールドは、レポートされた現在の最大出力電力 $P_{C M A X, c}$ が前記 P - M P R 値によって影響されず、前記レポートされた $P_{C M A X, c}$ が、前記 P - M P R 値によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 P - M P R 値が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加も減少もしていない場合に、前記インジケーションフィールドは、0 0 の値に設定される、

ここで、前記レポートされた $P_{C M A X, c}$ が前記 P - M P R 値によって影響されず、前記レポートされた $P_{C M A X, c}$ が、前記 P - M P R 値によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 P - M P R 値が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加した場合に、前記インジケーションフィールドは、0 1 の値に設定される、

ここで、前記レポートされた $P_{C M A X, c}$ が前記 P - M P R 値によって影響されず、前記レポートされた $P_{C M A X, c}$ が、前記 P - M P R 値によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 P - M P R 値が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで減少した場合に、前記インジケーションフィールドは、1 0 の値に設定される、

ここで、前記レポートされた $P_{C M A X, c}$ が前記 P - M P R 値によって影響を受ける場合に、前記インジケーションフィールドは、1 1 の値に設定される、

をコンピュータに実行させるためのコードを記憶したコンピュータ読取可能な記憶媒体。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 6 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 6 5】

1 つの構成では、U E はまた、現在の P - M P R が P H R において変化しているか否か、および、現在の P - M P R が P H R においてどのように変化したかをも示しうる。U E はまた、レポートされた現在の最大出力電力 $P_{C M A X, c}$ が、P H R における現在の P - M P R によって影響されるか否かをも示しうる。例えば、レポートされた $P_{C M A X, c}$ が現在の P - M P R によって影響されず、レポートされた $P_{C M A X, c}$ が、現在の P - M P R によって影響を受けることを示す最後のレポートから、現在の P - M P R が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値（すなわち、 $dl-pathlossChange$ ）以上まで増加も減少もしていない場合に、インジケーションを提供することによって、U E は、レポートされた $P_{C M A X, c}$ が現在の P - M P R によって影響されるか否かを示しうる。表 1 の P I フィールド“0 0”を参照されたい。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 6 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 6 6】

別の例において、レポートされた $P_{C M A X, c}$ が現在の P - M P R によって影響されず、レポートされた $P_{C M A X, c}$ が、現在の P - M P R によって影響を受けることを示す最後のレポートから、現在の P - M P R が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加した場合に、インジケーションを提供することによって、U E は、レポートされた $P_{C M A X, c}$ が現在の P - M P R によって影響されるか否かを示しうる。表 1 の P I フィールド“0 1”を参照されたい。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 6 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0067】

さらなる例において、レポートされた $P_{CMAX, c}$ が現在の $P-MPR$ によって影響されず、レポートされた $P_{CMAX, c}$ が、現在の $P-MPR$ によって影響を受けることを示す最後のレポートから、現在の $P-MPR$ が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで減少した場合に、インジケーションを提供することによって、UE は、レポートされた $P_{CMAX, c}$ が現在の $P-MPR$ によって影響されるか否かを示しうる。（表1のPIフィールド“10”を参照されたい）。

【誤訳訂正5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0070

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0070】

例えば、レポートされた $P_{CMAX, c}$ が現在の $P-MPR$ によって影響されず、レポートされた $P_{CMAX, c}$ が、 $P-MPR$ によって影響を受けることを示す最後のレポートから、 $P-MPR$ が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加も減少もしていない場合に、インジケーションを提供することによって、UE は、レポートされた $P_{CMAX, c}$ が $P-MPR$ によって影響されるか否かを示しうる。表1のPIフィールド“00”を参照されたい。

【誤訳訂正6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0071

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0071】

別の例において、レポートされた $P_{CMAX, c}$ が $P-MPR$ によって影響されず、レポートされた $P_{CMAX, c}$ が、 $P-MPR$ によって影響を受けることを示す最後のレポートから、 $P-MPR$ が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加した場合に、インジケーションを提供することによって、UE は、レポートされた $P_{CMAX, c}$ が $P-MPR$ によって影響されるか否かを示しうる。表1のPIフィールド“01”を参照されたい。

【誤訳訂正7】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0072

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0072】

さらなる例では、レポートされた $P_{CMAX, c}$ が $P-MPR$ によって影響されず、レポートされた $P_{CMAX, c}$ が、 $P-MPR$ によって影響を受けることを示す最後のレポートから、 $P-MPR$ が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで減少した場合に、インジケーションを提供することによって、UE は、レポートされた $P_{CMAX, c}$ が $P-MPR$ によって影響されるか否かを示しうる。表1のPIフィールド“10”を参照されたい。

【誤訳訂正8】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0084

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0084】

本開示の上記記載は、当業者をして、本開示の製造または利用を可能とするように提供される。本開示に対するさまざまな変形は、当業者に容易に明らかであって、本明細書で定義された一般原理は、本開示の精神または範囲から逸脱することなく、他のバリエーションに適用されうる。このように、本開示は、本明細書で示された例および設計に限定されることは意図されておらず、本明細書で開示された原理および新規な特徴に一致した最も広い範囲に相当するとされている。

以下に、出願当初の発明を付記する。

[C 1]

無線通信の方法であって、

前の電力管理最大電力低減 ($P - MPR$) と現在の $P - MPR$ との差分を判定することと、ここで、前記前の $P - MPR$ は、前記前の $P - MPR$ による電力バックオフが適用されていることを示すインジケーションが通信された場合の $P - MPR$ である、

前記差分がしきい値よりも大きく、前記現在の $P - MPR$ が最大電力低減 (MPR) と追加の MPR ($A - MPR$) との総和よりも大きい場合、電力ヘッドルーム・レポート (PHR) をトリガすることと、を備える方法。

[C 2]

前記トリガすることは、前記現在の $P - MPR$ と前の $P - MPR$ との変化がしきい値を超えており、前記前の $P - MPR$ が最後の PHR が送信された場合の $P - MPR$ であることに基づいて前記 PHR のトリガをリブレースする、C 1 に記載の方法。

[C 3]

前記現在の $P - MPR$ が、前記 PHR において変化したか否かと、前記変化が示された場合、前記現在の $P - MPR$ が、前記 PHR においてどのように変化したのかを示すことと、をさらに備える C 1 に記載の方法。

[C 4]

レポートされた現在の最大出力電力 $P_{CMAX,c}$ が、前記 PHR における現在の $P - MPR$ によって影響されるか否かを示すことと、をさらに備える C 3 に記載の方法。

[C 5]

前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が、前記現在の $P - MPR$ によって影響されるか否かを示すことは、

前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が前記現在の $P - MPR$ によって影響されず、前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が、前記現在の $P - MPR$ によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記現在の $P - MPR$ が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加も減少もしていない場合に、インジケーションを提供することを備える、C 4 に記載の方法。

[C 6]

前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が前記現在の $P - MPR$ によって影響されるか否かを示すことは、

前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が前記現在の $P - MPR$ によって影響されず、前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が、前記現在の $P - MPR$ によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記現在の $P - MPR$ が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加した場合に、インジケーションを提供することを備える、C 4 に記載の方法。

[C 7]

前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が前記現在の $P - MPR$ によって影響されるか否かを示すことは、

前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が前記現在の $P - MPR$ によって影響されず、前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が、前記現在の $P - MPR$ によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記現在の $P - MPR$ が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで減少した場合に、インジケーションを提供することを備える、C 4 に記載の方法。

[C 8]

前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が前記現在の $P - MPR$ によって影響されるか否か

を示すことは、

前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が前記現在の $P-MPR$ によって影響された場合にインジケーションを提供することを備える、C 4 に記載の方法。

[C 9]

前記 PHR は、拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御 (MAC) 制御要素を備え、前記インジケーションは、前記拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御 (MAC) 制御要素に含まれる、C 3 に記載の方法。

[C 10]

無線通信の方法であって、

電力管理最大電力低減 ($P-MPR$) が電力ヘッドルーム・レポート (PHR) において変化したか否かを示すことと、

前記変化が示された場合、前記電力管理最大電力低減 ($P-MPR$) が前記電力ヘッドルーム・レポート (PHR) においてどのように変化したのかを示すことと、

前記 PHR を送信することと、を備える方法。

[C 11]

レポートされた現在の最大出力電力 $P_{CMAX,c}$ が、前記 PHR における前記 $P-MPR$ によって影響されるか否かを示すこと、をさらに備える C 10 に記載の方法。

[C 12]

前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が、前記 $P-MPR$ によって影響されるか否かを示すことは、

前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が前記 $P-MPR$ によって影響されず、前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が、前記 $P-MPR$ によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 $P-MPR$ が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加も減少もしていない場合に、インジケーションを提供することを備える C 11 に記載の方法。

[C 13]

前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が、前記 $P-MPR$ によって影響されるか否かを示すことは、

前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が前記 $P-MPR$ によって影響されず、前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が、前記 $P-MPR$ によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 $P-MPR$ が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加した場合に、インジケーションを提供することを備える、C 11 に記載の方法。

[C 14]

前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が、前記 $P-MPR$ によって影響されるか否かを示すことは、

前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が前記 $P-MPR$ によって影響されず、前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が、前記 $P-MPR$ によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 $P-MPR$ が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで減少した場合に、インジケーションを提供することを備える、C 11 に記載の方法。

[C 15]

前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が、前記 $P-MPR$ によって影響されるか否かを示すことは、

前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が前記 $P-MPR$ によって影響された場合にインジケーションを提供することを備える、C 11 に記載の方法。

[C 16]

前記 PHR は、拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御 (MAC) 制御要素を備え、前記インジケーションは、前記拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御 (MAC) 制御要素に含まれる、C 10 に記載の方法。

[C 17]

無線通信の方法であって、

電力管理最大電力低減 ($P-MPR$) をレポートせよとの要求をイボルブド・ノード B

から受信することと、

前記 P - M P R に関連する情報を含む電力ヘッドルーム・レポート (P H R) を送信することと、を備える方法。

[C 1 8]

無線通信のための装置であって、

前の電力管理最大電力低減 (P - M P R) と現在の P - M P R との差分を判定する手段と、ここで、前記前の P - M P R は、前記前の P - M P R による電力バックオフが適用されていることを示すインジケーションが通信された場合の P - M P R である、

前記差分がしきい値よりも大きく、前記現在の P - M P R が最大電力低減 (M P R) と追加の M P R (A - M P R) との総和よりも大きい場合、電力ヘッドルーム・レポート (P H R) をトリガする手段と、を備える装置。

[C 1 9]

前記トリガする手段は、前記現在の P - M P R と前の P - M P R との変化がしきい値を超えており、前記前の P - M P R が最後の P H R が送信された場合の P - M P R であることに基づいて前記 P H R のトリガをリプレースする、C 1 8 に記載の装置。

[C 2 0]

前記現在の P - M P R が、前記 P H R において変化したか否かを示す手段と、

前記変化が示された場合、前記現在の P - M P R が、前記 P H R においてどのように変化したのかを示す手段と、をさらに備える C 1 8 に記載の装置。

[C 2 1]

レポートされた現在の最大出力電力 $P_{CMAX,c}$ が、前記 P H R における現在の P - M P R によって影響されるか否かを示す手段、をさらに備える C 2 0 に記載の装置。

[C 2 2]

前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が、前記現在の P - M P R によって影響されるか否かを示す手段は、前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が前記現在の P - M P R によって影響されず、前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が、前記現在の P - M P R によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記現在の P - M P R が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加も減少もしていない場合に、インジケーションを提供する、C 2 1 に記載の装置。

[C 2 3]

前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が、前記現在の P - M P R によって影響されるか否かを示す手段は、前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が前記現在の P - M P R によって影響されず、前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が、前記現在の P - M P R によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記現在の P - M P R が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加している場合に、インジケーションを提供する、C 2 1 に記載の装置。

[C 2 4]

前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が、前記現在の P - M P R によって影響されるか否かを示す手段は、前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が前記現在の P - M P R によって影響されず、前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が、前記現在の P - M P R によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記現在の P - M P R が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで減少している場合に、インジケーションを提供する、C 2 1 に記載の装置。

[C 2 5]

前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が、前記現在の P - M P R によって影響されるか否かを示す手段は、前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が前記現在の P - M P R によって影響された場合にインジケーションを提供する、C 2 1 に記載の装置。

[C 2 6]

前記 P H R は、拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御 (M A C) 制御要素を備え、前記インジケーションは、前記拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御 (M A C) 制御要素

に含まれる、C 2 0 に記載の装置。

[C 2 7]

無線通信のための装置であって、

電力管理最大電力低減 (P - M P R) が電力ヘッドルーム・レポート (P H R) において変化したか否かを示す手段と、

前記変化が示された場合、前記電力管理最大電力低減 (P - M P R) が前記電力ヘッドルーム・レポート (P H R) においてどのように変化したのかを示す手段と、

前記 P H R を送信する手段と、を備える装置。

[C 2 8]

レポートされた現在の最大出力電力 $P_{C M A X, c}$ が、前記 P H R における前記 P - M P R によって影響されるか否かを示す手段、をさらに備える C 2 7 に記載の装置。

[C 2 9]

前記レポートされた $P_{C M A X, c}$ が、前記 P - M P R によって影響されるか否かを示す手段は、前記レポートされた $P_{C M A X, c}$ が前記 P - M P R によって影響されず、前記レポートされた $P_{C M A X, c}$ が、前記 P - M P R によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 P - M P R が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加も減少もしていない場合に、インジケーションを提供する、C 2 8 に記載の装置。

[C 3 0]

前記レポートされた $P_{C M A X, c}$ が、前記 P - M P R によって影響されるか否かを示す手段は、前記レポートされた $P_{C M A X, c}$ が前記 P - M P R によって影響されず、前記レポートされた $P_{C M A X, c}$ が、前記 P - M P R によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 P - M P R が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加した場合に、インジケーションを提供する、C 2 8 に記載の装置。

[C 3 1]

前記レポートされた $P_{C M A X, c}$ が、前記 P - M P R によって影響されるか否かを示す手段は、前記レポートされた $P_{C M A X, c}$ が前記 P - M P R によって影響されず、前記レポートされた $P_{C M A X, c}$ が、前記 P - M P R によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 P - M P R が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで減少した場合に、インジケーションを提供する、C 2 8 に記載の装置。

[C 3 2]

前記レポートされた $P_{C M A X, c}$ が、前記 P - M P R によって影響されるか否かを示す手段は、前記レポートされた $P_{C M A X, c}$ が前記 P - M P R によって影響された場合にインジケーションを提供する、C 2 8 に記載の装置。

[C 3 3]

前記 P H R は、拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御 (M A C) 制御要素を備え、前記インジケーションは、前記拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御 (M A C) 制御要素に含まれる、C 2 7 に記載の装置。

[C 3 4]

無線通信のための装置であって、

電力管理最大電力低減 (P - M P R) をレポートせよとの要求をイボルブド・ノード B から受信する手段と、

前記 P - M P R に関連する情報を含む電力ヘッドルーム・レポート (P H R) を送信する手段と、を備える装置。

[C 3 5]

無線通信のための装置であって、

少なくとも 1 つのプロセッサと、

前記少なくとも 1 つのプロセッサに接続されたメモリとを備え、

前記少なくとも 1 つのプロセッサは、

前の電力管理最大電力低減 (P - M P R) と現在の P - M P R との差分を判定することと、ここで、前記前の P - M P R は、前記前の P - M P R による電力バックオフが適用さ

れていることを示すインジケーションが通信された場合の P - M P R である、

前記差分がしきい値よりも大きく、前記現在の P - M P R が最大電力低減 (M P R) と追加の M P R (A - M P R) との総和よりも大きい場合、電力ヘッドルーム・レポート (P H R) をトリガすることと、を実行するように構成された、装置。

[C 3 6]

前記トリガすることは、前記現在の P - M P R と前の P - M P R との変化がしきい値を超えており、前記前の P - M P R が最後の P H R が送信された場合の P - M P R であることに基づいて前記 P H R のトリガをリプレースする、C 3 5 に記載の装置。

[C 3 7]

前記少なくとも 1 つのプロセッサはさらに、

前記現在の P - M P R が、前記 P H R において変化したか否かを示すことと、

前記変化が示された場合、前記現在の P - M P R が、前記 P H R においてどのように変化したのかを示すことと、を実行するように構成された、C 3 5 に記載の装置。

[C 3 8]

前記少なくとも 1 つのプロセッサはさらに、レポートされた現在の最大出力電力 $P_{CMA_{X,C}}$ が、前記 P H R における現在の P - M P R によって影響されるか否かを示すことと、をさらに実行するように構成された、C 3 7 に記載の装置。

[C 3 9]

前記レポートされた $P_{CMA_{X,C}}$ が、前記現在の P - M P R によって影響されるか否かを示すために、前記少なくとも 1 つのプロセッサは、

前記レポートされた $P_{CMA_{X,C}}$ が前記現在の P - M P R によって影響されず、前記レポートされた $P_{CMA_{X,C}}$ が、前記現在の P - M P R によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記現在の P - M P R が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加も減少もしていない場合に、インジケーションを提供するように構成された、C 3 8 に記載の装置。

[C 4 0]

前記レポートされた $P_{CMA_{X,C}}$ が、前記現在の P - M P R によって影響されるか否かを示すために、前記少なくとも 1 つのプロセッサは、

前記レポートされた $P_{CMA_{X,C}}$ が前記現在の P - M P R によって影響されず、前記レポートされた $P_{CMA_{X,C}}$ が、前記現在の P - M P R によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記現在の P - M P R が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加した場合に、インジケーションを提供するように構成された、C 3 8 に記載の装置。

[C 4 1]

前記レポートされた $P_{CMA_{X,C}}$ が、前記現在の P - M P R によって影響されるか否かを示すために、前記少なくとも 1 つのプロセッサは、

前記レポートされた $P_{CMA_{X,C}}$ が前記現在の P - M P R によって影響されず、前記レポートされた $P_{CMA_{X,C}}$ が、前記現在の P - M P R によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記現在の P - M P R が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで減少した場合に、インジケーションを提供するように構成された、C 3 8 に記載の装置。

[C 4 2]

前記レポートされた $P_{CMA_{X,C}}$ が、前記現在の P - M P R によって影響されるか否かを示すために、前記少なくとも 1 つのプロセッサは、

前記レポートされた $P_{CMA_{X,C}}$ が前記現在の P - M P R によって影響された場合にインジケーションを提供するように構成された、C 3 8 に記載の装置。

[C 4 3]

前記 P H R は、拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御 (M A C) 制御要素を備え、前記インジケーションは、前記拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御 (M A C) 制御要素に含まれる、C 3 7 に記載の装置。

[C 4 4]

無線通信のための装置であって、
少なくとも1つのプロセッサと、
前記少なくとも1つのプロセッサに接続されたメモリとを備え、
前記少なくとも1つのプロセッサは、
電力管理最大電力低減 (P - M P R) が電力ヘッドルーム・レポート (P H R) において変化したか否かを示すことと、
前記変化が示された場合、前記電力管理最大電力低減 (P - M P R) が前記電力ヘッドルーム・レポート (P H R) においてどのように変化したのかを示すことと、
前記 P H R を送信することと、を実行するように構成された、装置。

[C 4 5]

前記少なくとも1つのプロセッサはさらに、レポートされた現在の最大出力電力 $P_{CMAX,c}$ が、前記 P H R における前記 P - M P R によって影響されるか否かを示すように構成された、C 4 4 に記載の装置。

[C 4 6]

前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が、前記 P - M P R によって影響されるか否かを示すために、前記少なくとも1つのプロセッサは、
前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が前記 P - M P R によって影響されず、前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が、前記 P - M P R によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 P - M P R が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加も減少もしていない場合に、インジケーションを提供するように構成された、C 4 5 に記載の装置。

[C 4 7]

前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が、前記 P - M P R によって影響されるか否かを示すために、前記少なくとも1つのプロセッサは、
前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が前記 P - M P R によって影響されず、前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が、前記 P - M P R によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 P - M P R が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加した場合に、インジケーションを提供するように構成された、C 4 5 に記載の装置。

[C 4 8]

前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が、前記 P - M P R によって影響されるか否かを示すために、前記少なくとも1つのプロセッサは、
前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が前記 P - M P R によって影響されず、前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が、前記 P - M P R によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 P - M P R が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで減少した場合に、インジケーションを提供するように構成された、C 4 5 に記載の装置。

[C 4 9]

前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が、前記 P - M P R によって影響されるか否かを示すために、前記少なくとも1つのプロセッサは、前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が前記現在の P - M P R によって影響された場合にインジケーションを提供するように構成された、C 4 5 に記載の装置。

[C 5 0]

前記 P H R は、拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御 (M A C) 制御要素を備え、前記インジケーションは、前記拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御 (M A C) 制御要素に含まれる、C 4 4 に記載の装置。

[C 5 1]

無線通信のための装置であって、
少なくとも1つのプロセッサと、
前記少なくとも1つのプロセッサに接続されたメモリとを備え、
前記少なくとも1つのプロセッサは、

電力管理最大電力低減（P - M P R）をレポートせよとの要求をイボルブド・ノード B から受信することと、

前記 P - M P R に関連する情報を含む電力ヘッドルーム・レポート（P H R）を送信することと、を実行するように構成された、装置。

[C 5 2]

コンピュータ・プログラム製品であって、

前の電力管理最大電力低減（P - M P R）と現在の P - M P R との差分を判定することと、ここで、前記前の P - M P R は、前記前の P - M P R による電力バックオフが適用されていることを示すインジケーションが通信された場合の P - M P R である、

前記差分がしきい値よりも大きく、前記現在の P - M P R が最大電力低減（M P R）と追加の M P R（A - M P R）との総和よりも大きい場合、電力ヘッドルーム・レポート（P H R）をトリガすることと、のためのコードを備えるコンピュータ読取可能な媒体を備える、コンピュータ・プログラム製品。

[C 5 3]

コンピュータ・プログラム製品であって、

電力管理最大電力低減（P - M P R）が電力ヘッドルーム・レポート（P H R）において変化したか否かを示すことと、

前記変化が示された場合、前記電力管理最大電力低減（P - M P R）が前記電力ヘッドルーム・レポート（P H R）においてどのように変化したのかを示すことと、

前記 P H R を送信することと、のためのコードを備えるコンピュータ読取可能な媒体を備える、コンピュータ・プログラム製品。

[C 5 4]

コンピュータ・プログラム製品であって、

電力管理最大電力低減（P - M P R）をレポートせよとの要求をイボルブド・ノード B から受信することと、

前記 P - M P R に関連する情報を含む電力ヘッドルーム・レポート（P H R）を送信することと、のためのコードを備えるコンピュータ読取可能な媒体を備える、コンピュータ・プログラム製品。